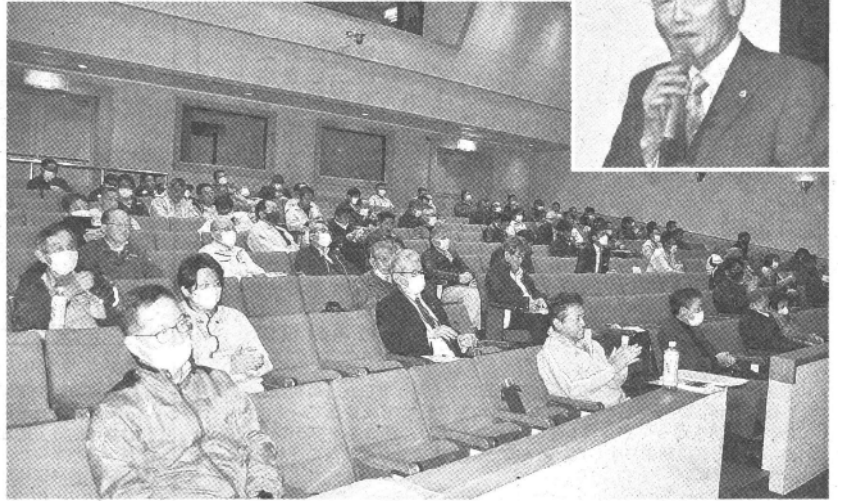


# 第31回技術研修会を開催

## 環境や防災、維持管理で講演

### ミラクルソル協会

▶講演を行う原裕理理事長  
▼唐津市文化体育館で開かれた技術研修会



ミラクルソル協会(原裕理理事長)が主催する2023年度(第31回)技術研修会が8日、唐津市文化体育館であった。官公庁、建設コンサルタント会社、建設会社、唐津工業高校、唐津商業高校などから141人が参加し、環境や防災、維

持管理技術について知識を深めた。技術研修会は▽佐賀県卓オファイバー協会▽佐賀県ニューレスプ協会▽SSLアンカー協会との共催、▽唐津建設業協会、佐賀県地質調査業協会との後援。2部構成で「環境と防災と維持管理技

術」をテーマに様々な研修が行われ、特別講演もあった。第1部では原理事長が「ミラクルソル工法でグリーン社会への構築」の演題で講演。地球規模での気候変動や自然環境の変化について説明し、「一人一人が地球温暖化への対策

に取り組むことが重要。私は半世紀前の気温に近づけるように取り組んでいる」と話した。また、ミラクルソルの製造工程や特性などを解説した上で、FWG・ウッドチップ工法やFWG・透保水性舗装工法、ミラクルソルを用いた藻場再生のための着生基盤材の提案(海のグリーンインフラ)について説明した。

続いて、サンスイ・ナビコ(株)営業開発部の和田亮主任、同社九州営業所の堀江靖所長が「グラウンドアンカー健全度調査例およびSSL・Fixerグラウンドアンカー工法の紹介」の演題で講演し、Fixerグラウンドアンカー工法の特徴を説明した。

2部では、元佐賀大学低平地沿岸海域研究センター長で、ミラクルソル協会顧問の荒木宏之氏が「多機能土木材料ミラクルソルの環境分野における役割」と題し講演。ミラクルソルによる水質浄化の基本的な原理と適用例を示して有用性を解説し、「優れた土木材料であるミラクルソルは環境分野、特に水質浄化で比類なき性能を発揮する」と話した。

特別講演では、国土交通省水管理・国土保全局砂防部の前砂防部長で、砂防フロントイア整備推進機構の理事を務める今井一之氏が「砂防関係事業および施設の維持・管理とソフト対策」をテーマに

講演。能登半島地震の被害状況、緊急復旧などについて説明し、砂防における防災・減災、国土強靱化、砂防メンテナンス事業などの取り組みを紹介した。会場では、パネルディスカッションや質疑応答なども行われた。